

進路指導部だより 第2号

令和4年6月3日(金)発行
東京都立八王子西特別支援学校
校長 井上 美保
〒193-0834

八王子市東浅川町546番1号
TEL 042-666-5600(代)

発行元：進路指導部 担当：小林 佐知子 URL <http://www.hachiojinishi-sh.metro.tokyo.jp>

福祉事業所聞き取り一覧配布・夏季施設体験のお知らせ

令和4年度が始まり、2ヶ月が経ちました。児童・生徒は少しずつ新しい環境に慣れてきました。進路指導部は4月から福祉事業所の聞き取り調査を実施し、令和4年度版の一覧表を作成しております。

7月に配布を予定しておりますので、お手元に届きましたらぜひ御一読下さい。

内容に関しましては、「サービスの種別」「作業内容」「送迎の有無」「定員数」「現在の利用者数」等となっております。あわせて「夏季体験実習（任意）施設一覧」も掲載いたします。

小学部や中学部の段階から、利用者の方々の様子を見学する機会を作ることで、高等部卒業後のイメージが湧きやすくなり、進路選択に向けての大切な材料となります。御自宅から通いやすい事業所や、作業内容に興味のある事業所等を御確認いただき、見学等について御検討いただくと幸いです。

高等部生におかれましては、福祉的就労を検討されている御家庭だけではなく、企業就労を目指している御家庭につきましても、現在のお子様の働く力を保護者の皆様に御確認していただけるとより良い進路選択の参考になると思います。「夏季体験実習（任意）施設一覧」を御確認いただき、見学や実習などの計画を立て、夏休みを有効に過ごしていただければと思っております。

御不明な点がございましたら、進路指導部まで御連絡下さい。



高等部 現場実習について

高等部3年生にとって、卒業後の進路先を決める上で大変重要な現場実習が始まります。今年の3年生は、1・2年生の時のインターンシップ(短期就業体験)や現場実習が、コロナ禍のため短期間の実習となりました。実力を発揮できなかつたり、課題を克服できなかつたりした生徒が多かったようです。しかし、それでも3年生の現場実習は始まります。今回は最長2週間の実習にな

ります。初めての長期の実習に、経験不足で不安が大きいと思いますが、今もっている力をぶつけてきてほしいです。3年生は全員現場実習を行います。現場実習が入ったらすぐに対応できるよう、早寝早起きで、生活リズムを整え、感染症に注意して日々の生活を送ってほしいです。また、保護者の皆様には、その準備のお手伝いをお願いします。

高等部2年生は、1学期に初めての現場実習を予定しています。1年生は3学期にインターンシップを予定しています。まだ準備期間がありますので、学校や御家庭の中で、ひとりでできることを増やし、働く力を育てていきましょう。

就労に向けて在校中に必要なこと

高等部では、「職場で大切な言葉の練習」として、朝の会や職業の授業、作業学習等で挨拶の練習に繰り返し取り組んでいます。挨拶は社会人としての基本でありながら、重要なコミュニケーションツールの一つです。なぜなら、元気で気持ちの良い挨拶をされて嫌だと感じる人はいないからです。逆に、仕事はよくできる人でも、挨拶ができないというだけで、一瞬にして印象が悪くなってしまうということがあります。実習後の評価表にも、挨拶の項目は必ず入っています。それくらい、挨拶は重要なものなのです。挨拶の練習は何歳からでも取り組むことができます。まずは「おはようございます」「ありがとうございます」など毎日使う挨拶を習慣化させ、明るく気持ちのよい挨拶が自分からできるように練習していきましょう。

また、就労を目指すにあたり、在校中にぜひ進めてほしいことがあります。それは、「一人通学への挑戦」です。就労継続支援B型事業所、就労継続支援A型事業所、企業就労などの、工賃や給料をもらいながら働く場所は、基本的に一人通所、一人通勤ができるということが前提条件です。仕事内容等が希望と合った事業所を見つけても、自力で通うことができないという理由から、進路先として選べないというケースが、実際にあります。将来の選択肢を広げるためにも、上記の進路先を御希望の方は「一人通学への挑戦」をぜひ御検討ください。公共交通機関の利用についてもお子様の成長に合わせて、少しずつ取り組んでいかれるとよいと思います。

在学中に取り組んだことは、お子様の将来の生活を支える力になります。できることから着実に取り組み、学校と家庭、両方で学びを積み重ね、卒業後の未来に繋げていきましょう。